

I. 医学および医療の水準の向上への貢献が日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会の独自の活動を以下に留意して記載をしてください。

a. 特に学術的に重要と考えられるもの

1. 西洋医学と東洋医学の統合医療として活動

西洋医学をベースとした東洋医学の医療体系の構築と実践に努めている。

- (1) 本学会が、WHO 国際統計分類協力センター (WHO—FIC) ネットワーク会議の一員として長年取り組んできた ICD-11 に伝統医学の章が採択されている。使用に際し、本章の普及を日本病院会との協議しながら、診療情報管理士の育成を含めて対応した。
- (2) 本学会は、わが国の伝統医学を主領域とする唯一の分科会として、漢方および鍼灸の普及と発展に寄与している。
- (3) 漢方と鍼灸の医学教育の標準化を図るための活動に力を入れている。
- (4) 漢方専門医の育成と認定に努めている。
- (5) 日本東洋医学雑誌の発行を通じて国内における伝統医学の活用に関する情報発信を行っている。また、本学会と和漢医薬学会の合同英文誌 (Traditional & Kampo Medicine) の発刊を通じて国際的な伝統医学の活用に関する情報発信を行っている。
- (6) 伝統医学の学術的用語の標準化のため、『日英対照 漢方用語辞書 (基本用語)』を発刊した。

b. 当該領域における国際的な役割

- (1) ICD-11 において伝統医学の章が新たに加わったため、わが国固有の伝統医学である漢方と鍼灸を、ICD-11 の運用を通じて、国際社会に対して広く発信していく責任を担っている。
- (2) 海外における漢方医学普及のため ISJKM(International symposium of Japanese Kampo Medicine)を支援している。また、ICOM (International Congress of Oriental Medicine)や ICMART(International Congress on Medical Acupuncture)と連携し、国際的に日本の伝統医学の活用を発信する学術的拠点として活動を展開している。
- (3) ISO/TC249 等、国際社会におけるわが国の利権を守るための活動に、本学会が中心となって、経済産業省及び厚生労働省と連携しながら貢献してきている。

c. 活動からもたらされる社会的な意義

- (1) 西洋医学と異なる医療体系である伝統医学は、治療において疾患に対する異なる選択肢を示すことができ、多様な患者の治療要求に対応できる可能性を広げている。
- (2) 母国の伝統を守ることは国際常識であるが、伝統医学については現代西洋医学を補完する立場で発展的に継承していくことが国内外において求められている。本学会は漢方と鍼灸の伝統を担う分科会として、伝統医学が社会に広く活用されるための窓口となっている。
- (3) COVID-19 等のパンデミックに際し、伝統医学を活用した臨床研究を主導することにより、国内の感染制御に大きく貢献している。また、災害時における伝統医学の適正使用を社会に提案する

ことにより、制限された診療状況において被災者への幅広い健康問題への対応に寄与してきている。

(4) 上述のように、わが国の伝統医学にかかわる産業の保護に貢献している。

d. 学会運営上留意している点

- (1) 漢方薬の保険適応を守っていくための活動は、国民生活上極めて重要であり、本学会としても重要な位置づけにあると考え、そのための活動を強化している。とりわけ学術面においては、伝統医学分野における科学的エビデンスの構築に努めている。
- (2) 医療安全へのとりくみとして、副作用情報の収集、ヒヤリハットに関わる調査等について、シンポジウム、論文等にて発表し、学会として啓蒙に取り組んでいる。
- (3) 国際社会に向けてのわが国の伝統医学にかかわる情報発信に、近年特に力を注いでいる。
- (4) 漢方医学教育に力点を置き、一般国民への啓発活動、医学生への教育、若手医師への教育、専門医教育のそれぞれの領域での教育活動を行い、国民の理解を得るとともに伝統医学を実施する医療者の技術レベルアップを念頭に置いている。
- (5) 漢方薬の原料である生薬が輸入に依存しており価格が高騰している課題があり、学会内に生薬原料委員会を設置し、栽培、流通などの情報を収集し対応を検討している。

II. 日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会と他の分科会との連携による活動を記載して下さい。

- (1) 日本プライマリ・ケア連合学会との合同シンポジウムを開催している。
- (2) 日本病院総合診療医学会との合同シンポジウムを開催している。
- (3) 日本精神神経学会での合同企画としてのシンポジウムの開催している。
- (4) 日本災害医学会での合同企画としてのシンポジウムの開催している。
- (5) COVID-19 に対する漢方薬の臨床応用や、漢方薬の臨床研究実施のため、日本感染症学会、日本呼吸器学会、日本プライマリ・ケア連合学会、日本病院総合診療医学会と連携している。